

通達甲(交. 総. 管)第 2 号

平成 3 年 1 月 14 日

存 続 期 間

各 所属長 殿

交通部長

○ 降雪時等における交通対策実施要領の制定について

〔沿革〕平成 5 年 11 月 通達甲(副監. 総. 企. 文)第 14 号
6 年 11 月 同(副監. 地. 総. 企)第 20 号
14 年 2 月 同(交. 総. 管)第 5 号
29 年 3 月 同(副監. 総. 企. 組)第 6 号改正

このたび、別添のとおり、降雪時等における交通対策実施要領を制定し、平成 3 年 1 月 14 日から実施することとしたから、運用上誤りのないようにされたい。

記

第 1 制定の趣旨

冬季の降雪、積雪、路面凍結時等において、管内実態に応じた迅速・的確な交通対策を実施することにより、交通の安全及び円滑化を図るものである。

第 2 要点

- 1 降雪時等における事前対策及び措置を定めた。
- 2 降雪等が原因となって発生した交通事故の報告について定めた。

別添

降雪時等における交通対策実施要領

第1 目的

この実施要領は、冬季の降雪、積雪、路面凍結時等(以下「降雪時等」という。)における道路の危険箇所の交通規制等を迅速・的確に実施するために必要な事項を定め、もって交通の安全と円滑を図ることを目的とする。

第2 事前対策

警察署長、交通機動隊長及び高速道路交通警察隊長は、降雪時等に備え、あらかじめ次の対策を講じておくものとする。

1 危険箇所の把握等

- (1) 警察署長及び高速道路交通警察隊長(以下「警察署長等」という。)は、降雪時等において、車両が通行不能となるおそれのある箇所、スリップ事故の発生が予想される箇所等(以下「危険箇所」という。)を把握し、通行禁止、う回措置その他の交通規制の実施計画をあらかじめ策定しておくとともに、通行禁止標識、看板その他の必要な資器材を整備しておくこと。
- (2) 交通機動隊長は、担当区域内の警察署長と連携を図り、危険箇所の把握に努めるとともに、必要な資器材を整備しておくこと。

2 道路管理者に対する要請

警察署長等は、降雪時等における除雪、危険箇所に対する凍結防止剤の散布等について、あらかじめ道路管理者と協議し、協力を要請しておくこと。

第3 降雪時等における措置

警察署長等及び交通機動隊長は、降雪時等においては、次の措置をとるものとする。

1 危険箇所への配置

立体交差、勾配の急な坂道等の危険箇所に、勤務員を早期に配置し、交通事故の発生防止に努めること。

2 交通規制措置

- (1) 警察署長は、危険箇所については、降雪等の状況に応じて、通行禁止の措置をとるとともに、これに伴う回措置を講じるなど交通機能の確保に努めること。
- (2) 高速道路交通警察隊長は、降雪等の状況に応じて、速度規制、チェーン規制又は通行禁止の措置をとること。

(3) 交通機動隊長は、交通規制措置について警察署長等との連携に努めること。

3 広報活動等の推進

交通規制状況、タイヤチェーンの装着等について、交通取締用車両、警ら用無線自動車又は交番備付けのマイク等を活用して、積極的に広報活動及び現場指導を行うこと。

4 道路管理者に対する措置

除雪又は凍結防止剤の散布等については、気象状況を勘案して、速やかに道路管理者に協力を要請し、交通機能の確保に努めること。

5 安全施設の点検

信号機、道路標識等の安全施設の点検に努め、視認性を確認すること。

第4 報告

警察署長等及び交通機動隊長は、次により必要事項を報告するものとする。

1 交通規制状況等

降雪等の影響による交通規制状況、交通渋滞状況等については、交通管制センターに無線又は電話により速報すること。

2 信号機障害

信号機の障害、破損等の事故が発生した場合は、交通管制課長(システム管理係経由)に電話速報すること。

3 交通事故

警察署長等は、降雪等が原因で発生した交通事故(物件事故を除く。)を取り扱った場合は、その都度、別記様式の「降雪等が原因となった交通人身事故」に記載し、その内容を交通総務課長(交通統計係経由)に電話速報すること。

第5 受傷事故防止

警察署長等及び交通機動隊長は、次の事項に留意し、受傷事故の防止に配慮するものとする。

1 警察車両に使用するタイヤチェーン等は、必要に応じ、直ちに使用できる状態にしておくこと。

2 各種街頭活動に当たっては、資器材の効果的な活用に努め、スリップ等による交通事故及び転倒による受傷事故防止に十分留意すること。

- 3 降雪後の路面状況は、交通量や日照条件により大きく左右され、特に裏通り等の路面凍結状態が続くことに留意すること。

別記様式

降雪等が原因となった交通人身事故

番号	発生日時	発生場所	路線名	道路形状	道路状況	事故類型	第1当事者		第2当事者		3当以下	車両整備状況 チェーン スノータイヤ スタッドレス等	その他 規制関係 特異事項
							種別等	損傷	種別等	損傷			
例	2日	〇〇区 本町4-10	〇〇通り	交差点 単路 力一杯	積雪10cm 凍結有無	追突	自普乗 男25	なし	自普乗 男30	軽傷		装着なし	0:00から 〇号線 チェーン規制

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。